

水野優也さん応援レポート フレッシュ名曲コンサート 小林研一郎&日本フィルハーモニー交響楽団 ～ドヴォルザークの世界～ 2017年11月23日(木・祝) 江戸川区総合文化センターホール

マエストロ・小林研一郎氏／日フィルとの協演

11月23日(木)に開催された「フレッシュ名曲コンサート 小林研一郎&日本フィルハーモニー交響楽団 ～ドヴォルザークの世界～」。水野優也さんの演奏を聴いてきた。

フレッシュ名曲コンサートは、公益財団法人東京都歴史文化財団(東京文化会館)が、都内の区市町村及び区市町村の指定する団体との共催により実施するコンサート。地域で身近にクラシック音楽等の名曲に親しむ機会を提供し、併せて東京音楽コンクール入賞者をはじめとする新進演奏家の発掘・育成を図ることを目的として開催されている。なお、江副記念財団は2016年度の助成事業として「東京音楽コンクール」を支援している。

2015年の第13回コンクールにて弦楽部門1位に輝いた水野さん、満を持してのフレッシュ名曲コンサートへの登場だ。

演奏会の会場は、江戸川区総合文化センター。センターのウェブサイトには「...一流の指揮者とオーケストラと、次世代を担う新進気鋭の音楽家が協演」との紹介文。

指揮は「炎のコバケン」こと小林研一郎氏。管弦楽は日本フィルハーモニー交響楽団のみなさんというラインナップだ。



フレッシュ名曲コンサート
小林研一郎
& 日本フィルハーモニー交響楽団
～ドヴォルザークの世界～

指揮 小林研一郎
日本フィルハーモニー交響楽団
首席指揮者

ドヴォルザーク
チェロ協奏曲 口短調 作品104
交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

2017年
11/23 (木・祝)
15:00開演 (14:30開場)
江戸川区総合文化センター
大ホール

チェロ 水野優也
2015年度第13回東京音楽コンクール
弦楽部門1位(15歳以下)

管弦楽 日本フィルハーモニー交響楽団

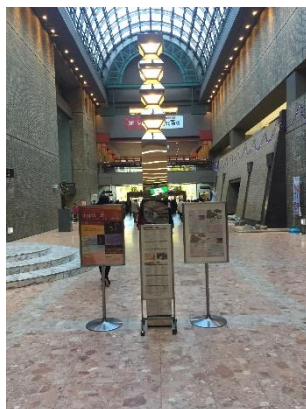
今年、喜寿を迎えた「炎のマエストロ」小林研一郎と日本フィルハーモニー交響楽団の豪華な組み合わせ。東京音楽コンクールで第1位と聴衆賞を受賞した若き俊英チェリスト水野優也と共に、ドヴォルザークの世界を、熱く情熱的にお届けします。

S席 3,800円
A席 2,500円
A席(学生) 1,000円

申込受付 サポート・クラブ先行発売 6月3日(土) 一般発売 6月10日(土)
9:00～受付 江戸川区総合文化センター
10:00～一般発売 03-3652-1106
10:00～メールページ <http://edogawa-bunkacenter.jp> ※購入には資料の登録が必要です。
プレイガイド一般発売 6月10日(土)10:00～
イープラス <http://eplus.jp>
チケットぴあ <http://ぴあ.jp> 0570-02-9999 (予約: 1133-207)
ローソンチケット <http://l-tike.com> 0570-084-003 (Lコード: 3369)
日本フィル サービスセンター 03-5378-5911 (平日10時～17時、6/12～発売)

お申込み/お問合せ
江戸川区総合文化センター TEL 03-3652-1106 (9:00～21:00)
〒132-0021 東京都江戸区中央4-14-1
<http://edogawa-bunkacenter.jp>

注 江戸川区 江戸区歴史文化センター(旧江副記念センター)の中心ビル「エドガワ・ブンカセンター」の
公益財団法人東京都歴史文化財団(東京文化会館)
公益財団法人東京都歴史文化財団(東京文化会館)
公益財団法人東京都歴史文化財団(東京文化会館)



人生初のドヴォクン・ソリスト



この日のプログラムはドヴォルザークの2曲。「チェロ協奏曲 口短調」と、「交響曲 第9番 ホ短調『新世界より』」という鉄板のプログラムが組まれていた。

水野さんはドヴォルザークのチェロ協奏曲（ドヴォクン）ソリストとして登場。チェリストとして、人生初のドヴォクン挑戦という記念すべき日。水野さん自身、「・・・本当に楽しみ」にしていた演奏会が始まった。

当日は完売御礼の札が出るほどの超満員。演奏が始まる前から熱気あふれる会場内。

燕尾服で正装の水野さん。大きな拍手に迎えられ、チェロ台に位置取る。ドヴォルザークのチェロ協奏曲は曲が始まってからしばらくの間、オーケストラのみの演奏が続く。静かに目を閉じて、じっと集中する水野さん。

チェリストとして、これから何度となく弾いていくであろうこの曲、人生最初の演奏が始まる瞬間。どんな思いでいるのだろうと、その姿を見るだけで、客席のこちらでも感慨でいっぱい。

いつもの水野さんの真摯な姿勢そのままに、ときに激しく、ときに優しく、美しく、感情がほとばしり得るような、瑞々しく情感のこもった演奏を聴かせてくれた。凜とした貴公子が望郷の思いに浸りながらチェロを鳴らすような、そんな素敵な演奏だった。

最終楽章まで見事に弾きぬくと、コバケン先生からの両手によるハグ。大きなブラヴォーの声飛び交い、会場は超がつくほどの盛り上がり。水野さんは何度も何度もカーテンコールに呼ばれていた。



「チェロ人生において記憶に残る、かけがえのない日」



終演後楽屋にて。

ツーショットは小林マエストロと。

スリーショットのもうお一方は、この日、客演コンサートマスターとして美音を聴かせてくださった
田野倉雅秋氏(大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター)

人生初のドヴォン。チェロコンチェルトの超傑作といわれ、愛され続けているこの曲を、「…あらためて『素晴らしい曲だ』と聴いていただくためには、どうしたらいいか」という観点で練習を続けたそう。

水野さんは、以前から、別のチェリストの方々によるコンサートにも、熱心に通う。練習を終えた足で、チェロを背負って、耳を傾けにくる姿を会場で何度見かけたことか。ドヴォン演奏会にも足を運び、そのうえで、「…固定観念から離れ、ひたすら楽譜と向き合い、練習を重ねた」そう。幅広く見聞し、研鑽を重ねようとする真面目な姿勢をベースに、人生初となるドヴォンを見事に弾きぬいた。

終演後日は「…しばらくぼーっとしてしまうほど」の、当日の集中だったそう。

「…この日は私のチェロ人生において、いつまでも記憶に残るかけがえのない日になりました！」と、素晴らしい体験だったことを語ってくれた。

水野さん、初ドヴォンおめでとうございます。引き続き素敵な演奏を！

<演奏会概要>

◆出演

指揮 小林研一郎

チェロ 水野優也

管弦楽 日本フィルハーモニー交響楽団

◆プログラム

ドヴォルザーク:

チェロ協奏曲 口短調 Op. 104

交響曲第9番 ホ短調 Op. 95 「新世界より」